

地域福祉計画の指標

(%)

計画での記載内容	目標	H27	H28	H29	H30(現状値)
【アクション1】身近な地域でだれもが参加できる活動の推進 《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進 《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み	地域住民のふれあい活動に満足している市民の割合 (満足していない市民の割合)	12.0 (14.8)	12.0 (14.0)	7.5 (24.8)	14.1 (26.5)
	災害に対する備えをしている市民の割合 (備えをしていない市民の割合)	43.6 (53.9)	46.2 (52.7)	53.8 (45.5)	57.3 (39.9)
【アクション2】さまざまな“困りごと”を支えるしくみづくり 《プログラムC》生活困窮者への支援の推進 《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実	相談したり、助けてもらえる人が身近にいると思っている市民の割合 (身近にいないと感じている市民の割合)	84.9 (13.8)	85.6 (13.2)	86.2 (12.2)	86.4 (12.1)
	市民サービスなどの行政窓口の充実に満足している市民の割合 (満足していない市民の割合)	17.5 (21.4)	18.0 (18.7)	17.5 (18.0)	20.5 (17.1)
【アクション3】地域福祉の多様な担い手づくり 《プログラムE》協働事業の担い手の養成 《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会に満足している市民の割合 (満足していない市民の割合)	7.8 (9.9)	9.7 (11.6)	8.0 (6.5)	13.3 (8.3)
	地域住民の助け合い活動に満足している市民の割合 (満足していない市民の割合)	19.6 (11.2)	20.5 (10.1)	12.4 (8.7)	17.2 (9.5)
— (H28協議会の意見より)※総合的な指標	和歌山市が住みよいまちだと感じている市民の割合	77.7 (19.9)	79.9 (18.3)	81.4 (16.8)	80.7 (16.9)

※データ出所：市政世論調査(市民2,000人(満18歳以上の男女)発送無作為抽出)